

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	交通安全施設管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政 策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	道路管理課			
施 策	2-4	日常生活での安全性と快適性の確保		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路反射鏡	意図	市道に設置された道路反射鏡を維持管理し、車両通行等の危険を防止する。
事業内容	道路反射鏡の定期巡回による点検を実施し、破損、老朽化した道路反射鏡の適切な維持管理と補修を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	交通安全施設等整備に関する緊急措置法の施行（昭和41年4月1日）及び交通安全対策基本法の施行（昭和45年6月1日）により、車社会に即応した道路交通環境の整備（交差点改良・歩道整備等）が必要であるものの、これらの整備には多額の費用と時間を要する。しかし、道路反射鏡の設置や啓発活動による安全対策は急務であり、今後も適切な整備と維持管理が必要である。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		道路反射鏡定期巡回点検を実施した延べ基数	5,863	5,910	6,005	基		
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 主に地元自治会からの設置要望により、危険な交差点に道路反射鏡を設置し安全を確保してきたが、近年老朽化した道路反射鏡が点検時において確認されているため、維持管理を強化しなければならない。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,458,808	5,400,284	5,936,708				
事業費（b）（円）		2,440,908	2,305,584	2,640,708				
うち一般財源		2,440,908	2,305,584	2,640,708				
職員給与費(c)(円)		2,017,900	3,094,700	3,296,000				
人役・職員(人)		0.20	0.40	0.50				
人役・再任用(人)		0.20	0.10					
人役・臨職(人)		0.10	0.10					
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	道路反射鏡の点検を継続し、GIS機能を用いた現状把握で、維持管理の充実を図る。	取組における課題(Check)	道路反射鏡の補修中は、一時的に使用不能になるが、その間も安全を確保しなければならない。
H30に実施した取組(Do)	業務委託における点検項目の見直しを図り、道路反射鏡の転倒防止に努めた。また、GIS機能による現状把握の向上を図った。	課題に対する今後の改善計画(Action)	補修期間中は注意を促すための一時的な表示を検討する。